

「2015年度化学品管理のためのQSARセミナー（基礎編）」を開催しました。

日化協では、2015年10月9日（金）に、日化協会議室において、「2015年度化学品管理のためのQSARセミナー（基礎編）」を開催しました。このセミナーは、QSAR（定量的構造活性相関）活用に向けての日化協の取り組みの中で、化学業界でのQSARの普及・活用を推進することを目的に定期的に開催しています。今回、定員60名に対し74名の参加があり、関心の高さが伺われるとともに、活発な質疑応答が行われました。

今回は2つのテーマで講演がありました。

- ① 一般財団法人 化学物質評価研究機構 赤堀 有美 氏
「QSARとは？カテゴリーアプローチとは？」
 - 1) 化学品管理に関する世界の動き
 - 2) (Q)SARとは？
 - 3) グルーピングアプローチとは？
 - 4) (Q)SAR/グルーピングを利用する際の留意点

- ② 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 山田 隆志 氏
「化学物質管理における *in silico* 評価手法の活用状況」
 - 1) 化審法における活用状況
 - 2) 食品安全分野における取り組み
 - 3) 医薬品中に含まれる遺伝毒性不純物
 - 4) 米国TSCA、EU REACHにおける活用状況
 - 5) OECDにおける評価ツール・手法開発の状況

アンケート結果から、「難しい内容をわかりやすく説明していただけた。」「QSARの活用編を早く聴講させて頂きたい。」といった好評の声を多くいただきました。一方で、「もう少し時間をかけていただいた方が良かった。」という声もあり、次回以降の運営に生かしていきたいと思えます。

次回は2016年3月に、「2015年度化学物質のQSAR/*in silico*活用セミナー」を開催予定です。

